



マツシロ株式会社

2009年度 環境活動レポート

(2009年6月～2010年5月)

発効日 2010年7月16日

改定日 年 月 日

この紙は端紙を使用しています



□ごあいさつ

2010年8月に環境経営システム(エコアクション21)の2度目の更新をおこないます。
この4年間の取り組み、行動を通じ、地球温暖化防止に向け全社員の気持ちをひとつにすることが出来、概ね大きな成果を得ることが出来ました。社員の皆さんからの提案によるより進んだ行動が、省エネやゴミの削減という実績となりました。また、屋上緑化にチャレンジし楽しみながら環境活動を行いました。このような一人ひとりの小さな行動と心がけの積み重ねにより、更なる目標へのチャレンジをしていきたいと思えます。私たちの小さな一歩が、未来の地球と、私たちの子孫を支えることが出来るという考えを強く持ち、更なる改善行動をしていきます。

2010年6月

代表取締役社長 松城幹夫

環境方針

当社は、紙袋の製造販売メーカーとして、丈夫で何度でも使用していただける、高品質の商品を製造することに力を入れ約半世紀が経過しました。とは云え、残念ながら紙袋は最終的にはごみとなってしまいう商品です。そのため、当社は以前から常々環境を意識してまいりました。

当社経営方針の中に、「環境を意識して、地域社会に信頼され、社会に貢献する会社になります」という項目があります。この方針を追求する為、全社一丸となって積極的に、自主的に環境経営システムを構築・運用し、保全活動を追及していきます。当社の事業活動における環境負荷の低減、地域社会および地球環境の改善を行うために行動指針を制定します。

• 行動指針

1. 地球温暖化防止のための省エネルギー
2. 資源の有効利用
3. 廃棄物の削減
4. 化学物質使用量の削減
5. グリーン購入並びに環境にやさしい商品生産と企画及び販売

以上について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- 環境関連規制及び当社が約束した事柄を順守します。
- 環境への取り組みを環境活動レポートとして公表します。

制定日：2005年10月21日

改定日：2010年6月22日

代表取締役社長 松城 幹夫

□事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
マツシロ株式会社
代表取締役社長 松城 幹夫
- (2) 所在地
本社 : 大阪府東大阪市角田1丁目10番8号
東京営業所: 東京都台東区浅草橋1丁目32番3号 (2010年3月31日をもって閉鎖)
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
責任者 工務課係長 : 南野 幸伸 TEL: 072-962-1431
担当者 本社 総務課: 赤滝 聡子 TEL: 072-962-1431
(連絡先: 本社)
- (4) 事業内容 (認証・登録の活動範囲)
紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売
雑貨小物の製造・企画・販売
具体的商品例: 紙・ポリプロピレン完全分別紙袋・ポリプロピレンビニール被せ紙袋
レジかご対応バッグ (エコ楽バッグ)・環境対応買い物袋 等
ホームページ: <http://www.m-elitebag.co.jp>
- (5) 事業の規模
主要製品生産量 506トン/年
従業員 47名 (内 東京4名)
本社工場延べ床面積 3,976㎡
東京営業所延べ床面積 56㎡ (2010年3月31日をもって閉鎖)

□環境目標とその実績

当本社工場における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項目	年度	2008年度	2009年度		2010年度	2011年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の省エネ (0.378kg-CO ₂ /kwh)	(kg-CO ₂)	51,921	51,402	50,068	50,883	50,364
自動車燃料の削減	(kg-CO ₂)	18,974	18,784	19,290	18,594	18,405
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)		70,895	70,186	69,358	69,477	68,769
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	8,097	8,016	6,555	7,935	7,854
コピー用紙の削減	(kg/年)	479	474	761	469	465
一般廃棄物排出量合計 (kg/年)		8,576	8,490	7,316	8,404	8,319
節水	(m ³ /年)	608	602	520	596	590
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	7,000	7,070	4,859	7,140	7,210

東京営業所における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項目	年度	2008年度	2009年度		2010年度	2011年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の省エネ (0.378kg-CO ₂ /kwh)	(kg-CO ₂)	1,869	1,851	1,736	—	—
ガソリンの削減	(kg-CO ₂)	1,065	1,054	24	—	—
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)		2,934	2,905	1,760	—	—
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	74	73	51	—	—
コピー用紙の削減	(kg/年)	32	32	20	—	—
一般廃棄物排出量合計 (kg/年)		106	105	71	—	—
節水	(m ³ /年)	58	57	51	—	—
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	11,500	11,615	4,856	—	—

本社工場及び東京営業所における主要な合計環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです

項目	年度	2008年度	2009年度		2010年度	2011年度
		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の省エネ(0.378kg-CO ₂ /kwh)	(kg-CO ₂)	53,790	53,253	51,804	50,883	50,364
自動車燃料の削減	(kg-CO ₂)	20,039	19,838	19,314	18,594	18,405
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)		73,829	73,094	71,118	69,477	68,769
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	8,171	8,089	6,606	7,935	7,854
コピー用紙の削減	(kg/年)	511	506	781	469	465
一般廃棄物排出量合計 (kg/年)		8,682	8,595	7,387	8,404	8,319
節水	(m ³ /年)	666	659	571	596	590
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	18,500	18,685	9,715	7,140	7,210

□環境活動の取り組み計画と評価

本社工場

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
①電力の省エネ (基準年度比△1%) ・節電運動の展開 ・クールビズ・ウォームビズ運動 事務所：冷房 27℃ 暖房 21℃ 工場：冷房 26℃ 暖房 22℃ ・節電の徹底 ・定時退社推進による残業時間の短縮 ・製造工程の見直し ・冷暖房機の見直し	基準：51,921kg-CO ₂ 目標：51,402kg-CO ₂ 実績：50,068kg-CO ₂ 達成率：102.6% 基準年度比：96.4% 3.6% (削減)	(目標達成) 年間目標は達成しているものの、月間では増減のバラツキがあった。 今後、月間目標及び更なる削減の為に、あらたな目標達成手段を用いて取組んでいきます。 ・デマンド監視装置導入 ・照明を省エネタイプに更新 ・エアコンを省エネタイプに更新
②自動車燃料の削減 (基準年度比△1%) ・急加速の抑制 ・無駄な使用の制限 ・エコドライブの推進 ・全車エコドライブ宣言 ・低燃費車に更新	基準：18,974kg-CO ₂ 目標：18,784kg-CO ₂ 実績：19,290kg-CO ₂ 達成率：97.3% 基準年度比：101.6% 1.6% (増加)	(目標未達成) 営業活動の為、車を使い過ぎたのが原因で目標未達成となった。 今後、目標達成に向け、無駄な使用の制限とエコドライブを心掛けると共に、あらたな目標達成手段を用いて取組んでいきます。 ・営業ルートの効率化 ・カーナビ導入
③可燃廃棄物の削減 (基準年度比△1%) ・リサイクルゴミと一般ゴミとの分別 ・ゴミ削減運動 ・製造ミスの削減	基準：8,097kg 目標：8,016kg 実績：6,555kg 達成率：122.2% 基準年度比：80.9% 19.1% (削減)	(目標達成) ゴミの分別と製造ミスの削減によって成果が出た。 今後、更なる削減の為に、古い伝票や資料類も分別してリサイクルへ回すと共に、あらたな目標達成手段を用いて取組んでいきます。 ・ハンカチ、タオル使用によるペーパータオルの廃止 ・リサイクル紙抄造の為の分別
④コピー用紙の削減 (基準年度比△1%) ・裏紙使用 ・ミスコピー・ミスプリントの防止 ・焼却→古紙回収へ ・両面コピーの推進 ・端紙使用の徹底 ・ペーパーレス化の推進	基準：479kg 目標：474kg 実績：761kg 達成率：62.2% 基準年度比：158.8% 58.8% (増加)	(目標未達成) カタログ作成の増加が最大の原因で目標未達成となった。 今後、目標達成に向け、あらたな目標達成手段を用いて取組んでいきます。 ・カタログ作成方法の見直し ・PCファックス機能付複合機の導入

<p>⑤節水（基準年度比△1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水運動 ・使用量の表示等による啓蒙 ・節水運動の徹底 	<p>基準：479 m³ 目標：602 m³ 実績：520 m³ 達成率：115.7% 基準年度比：85.5% 14.5%（削減）</p>	<p>（目標達成） 節水運動の呼びかけにより意識付けが定着し結果に繋がった。 今後、更なる削減の為に、あらたな目標達成手段を用いて取組んでいきます。 ・水を流しながら石鹸での手洗いはしない ・雨水利用による植木の水やり ・節水弁（バルブ）取付け</p>
<p>⑥環境配慮製品の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙・プラ完全分別可能商品の販売量増加 ・レジ袋削減促進買い物袋の開発販売 ・グリーン購入法商品の開発と登録申請 ・リサイクル 30%再生紙仕様商品の開発販売 	<p>基準：7,000 万円 目標：7,070 万円 実績：4,859 万円 達成率：68.7% 基準年度比：69.4% 30.6%（不足）</p>	<p>（目標未達成） エコバッグの売上げの落ち込みが原因で目標未達成となった。 今後、目標達成に向け、商品開発と販売促進を続けて行くと共に、あらたな目標達成手段を用いて取組んでいきます。 ・エコマーク取得 ・社内から出たリサイクル紙を使つての紙の抄造</p>

東京営業所

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<p>①電力の省エネ（基準年度比△1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電運動の展開 ・クールビズ・ウォームビズ運動 事務所：冷房 27℃ 暖房 21℃ ・節電の徹底 ・定時退社推進による残業時間の短縮 ・冷暖房機の見直し 	<p>基準：1,869kg-CO2 目標：1,851kg-CO2 実績：1,736kg-CO2 達成率：106.6% 基準年度比：92.8% 7.2%（削減）</p>	<p>（目標達成） 平成 22 年 3 月 31 日をもって閉鎖</p>
<p>②ガソリンの削減（基準年度比△1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急加速の抑制 ・無駄な使用の制限 ・エコドライブの推進 ・全車エコドライブ宣言 ・低燃費車に更新 	<p>基準：1,065kg-CO2 目標：1,054kg-CO2 実績：24kg-CO2 達成率：4,391.6% 基準年度比：2.2% 97.8%（削減）</p>	<p>（目標達成） 平成 22 年 3 月 31 日をもって閉鎖</p>
<p>③可燃廃棄物の削減（基準年度比△1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルゴミと一般ゴミとの分別 ・ゴミ削減運動 	<p>基準：74kg 目標：73kg 実績：51kg 達成率：143.1% 基準年度比：68.9% 31.1%（削減）</p>	<p>（目標達成） 平成 22 年 3 月 31 日をもって閉鎖</p>
<p>④コピー用紙の削減（基準年度比△1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏紙使用 ・ミスコピー・ミスプリントの防止 ・焼却→古紙回収へ ・両面コピーの推進 ・ペーパーレス化の推進 	<p>基準：32kg 目標：32kg 実績：20kg 達成率：160% 基準年度比：62.5% 37.5%（削減）</p>	<p>（目標達成） 平成 22 年 3 月 31 日をもって閉鎖</p>
<p>⑤節水（基準年度比△1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水運動 ・使用量の表示等による啓蒙 ・節水運動の徹底 	<p>基準：58 m³ 目標：57 m³ 実績：51 m³ 達成率：111.7% 基準年度比：87.9% 12.1%（削減）</p>	<p>（目標達成） 平成 22 年 3 月 31 日をもって閉鎖</p>

⑥環境配慮製品の販売促進 ・紙・プラ完全分別可能商品の販売量増加 ・レジ袋削減促進買い物袋の開発販売 ・グリーン購入法商品の開発と登録申請 ・リサイクル 30%再生紙仕様商品の開発販売	基準：11,500万円 目標：11,615万円 実績：4,856万円 達成率：41.8% 基準年度比：42.2% 57.8% (不足)	(目標未達成) 平成 22 年 3 月 31 日をもって閉鎖
--	--	-----------------------------------

総括

・2009 年度より基準年度を 2004 年から 2008 年に変更し、より現実に即した目標とし、『省エネ・ごみの削減・節水・環境配慮製品の販売促進』に取組みました。

しかし景気低迷の為、『環境配慮製品の販売促進』が大幅な不足による目標未達成になりました。また、自動車燃料とコピー用紙(カタログ)に付いても営業活動に力を入れた為、目標を達成出来ませんでした。目標を達成出来た、電力の削減、ゴミの削減、節水などは削減意識が定着したように感じます。特に、ごみの削減については、製造段階のミス削減が大きな成果として表れました。

残念ながら、東京営業所は 2010 年 3 月 31 日をもって閉鎖し、取組みの対象組織より除外することとします。

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規	適用される事項	本社工場	東京営業所
廃棄物処理法	一般廃棄物	○	ビル管理指示に従い一般分別ごみ
騒音規制法	製袋機・断裁機	○	無し
容器包装リサイクル法	包装資材商品	○	無し
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機	○廃棄無し	備付け (ビル管理会社管理)
フロン回収・破壊法	業務用エアコン	○廃棄無し	備付け (ビル管理会社管理)

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

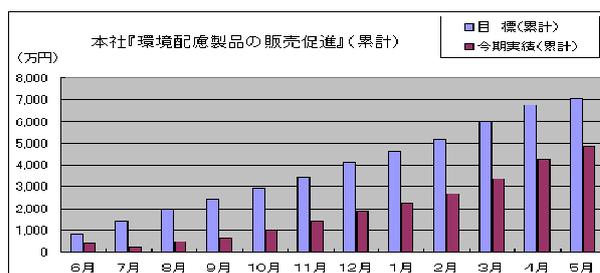
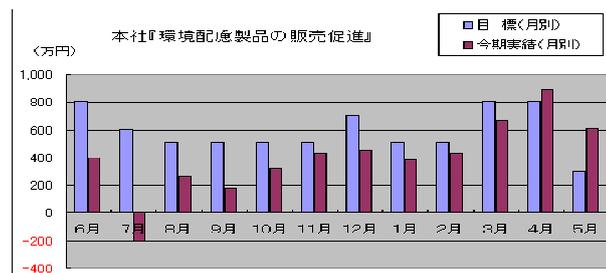
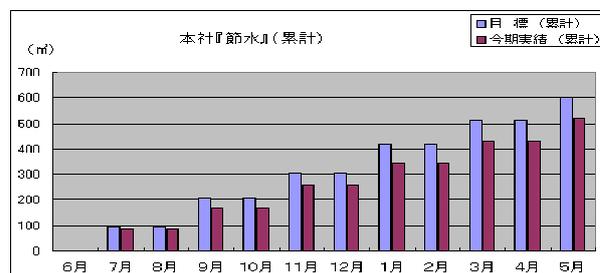
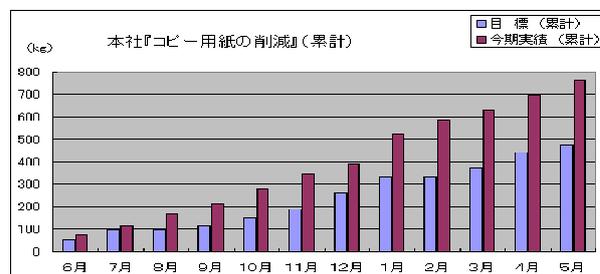
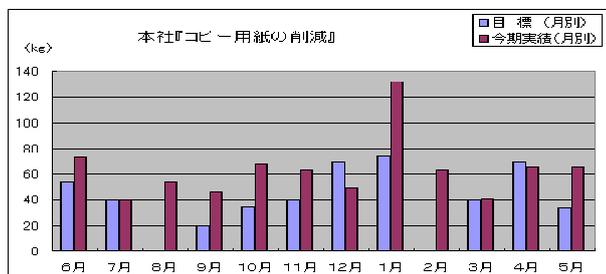
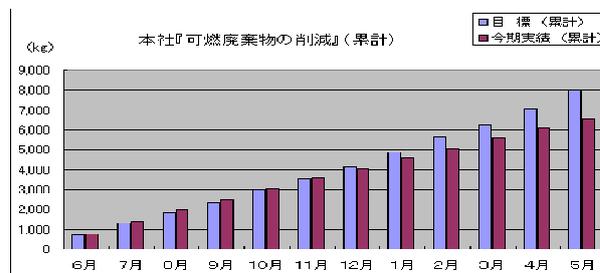
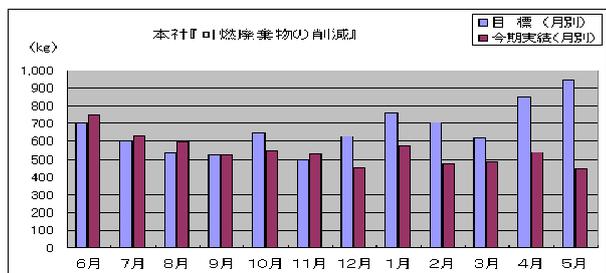
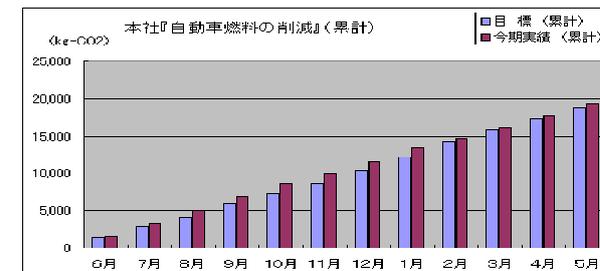
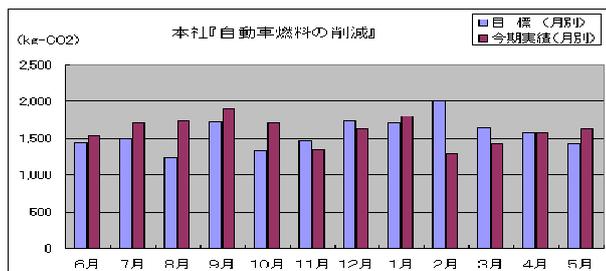
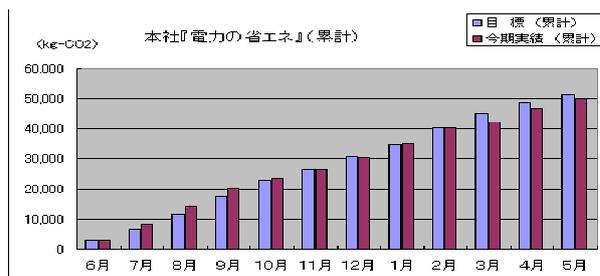
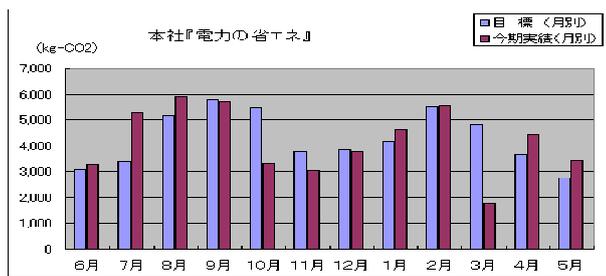
また、過去 3 年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上

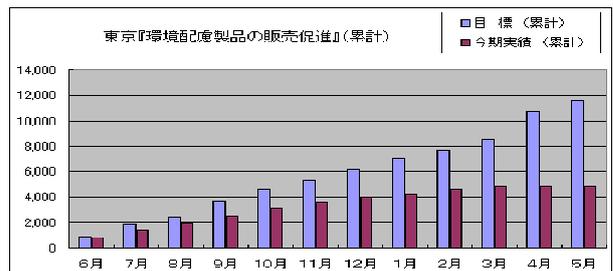
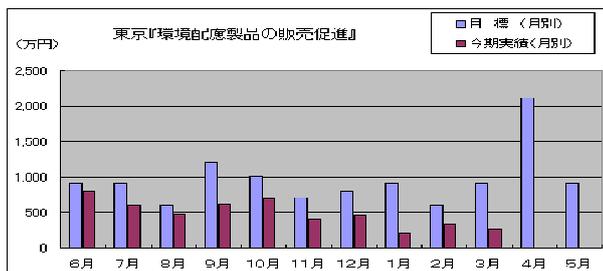
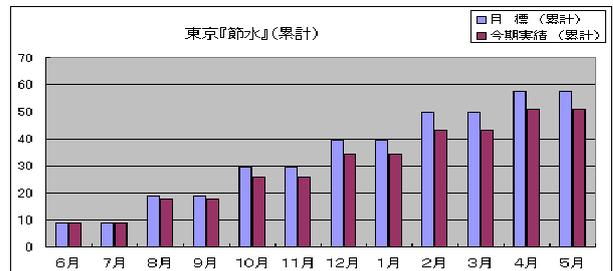
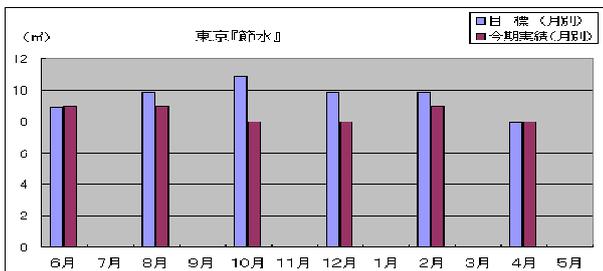
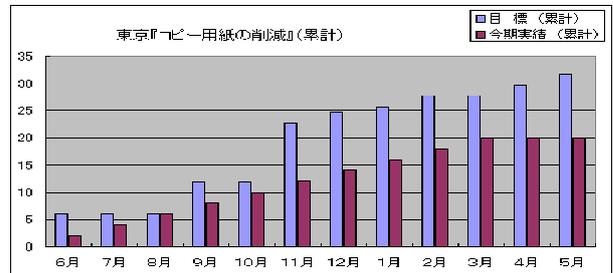
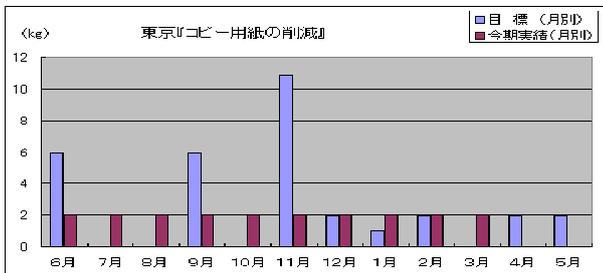
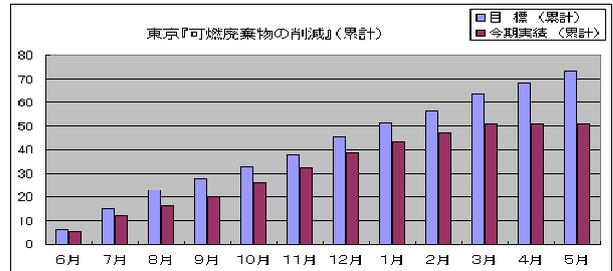
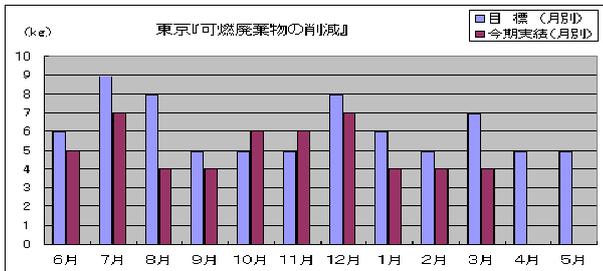
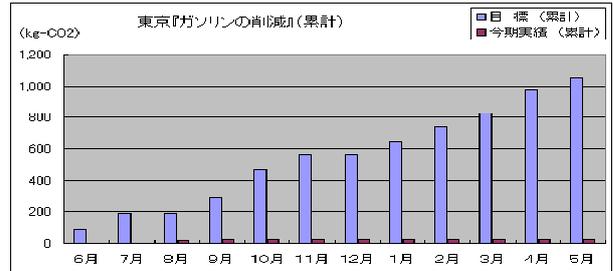
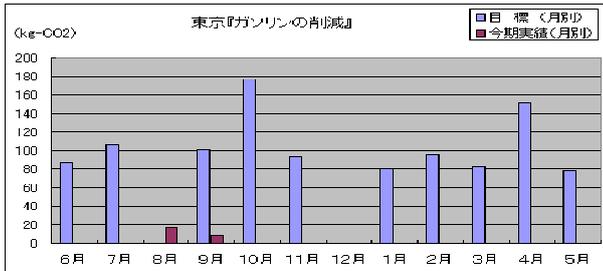
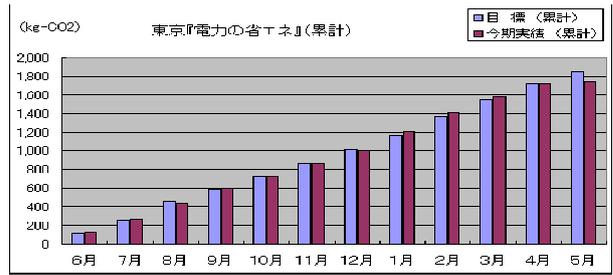
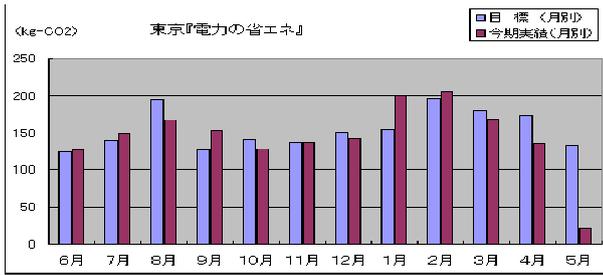
エコアクション活動板



2009 年度本社目標対比実績グラフ



2009年度東京営業所目標対比実績グラフ



レジ袋削減バッグ エコ楽バッグ



レジ袋削減バッグ

①レジ袋削減バッグ

②エコ楽バッグ

③エコ楽バッグ

④エコ楽バッグ

⑤エコ楽バッグ

⑥エコ楽バッグ

⑦エコ楽バッグ

⑧エコ楽バッグ

⑨エコ楽バッグ

⑩エコ楽バッグ

⑪エコ楽バッグ

⑫エコ楽バッグ

⑬エコ楽バッグ

⑭エコ楽バッグ

⑮エコ楽バッグ

⑯エコ楽バッグ

⑰エコ楽バッグ

⑱エコ楽バッグ

⑲エコ楽バッグ

⑳エコ楽バッグ

㉑エコ楽バッグ

㉒エコ楽バッグ

㉓エコ楽バッグ

㉔エコ楽バッグ

㉕エコ楽バッグ

㉖エコ楽バッグ

㉗エコ楽バッグ

㉘エコ楽バッグ

㉙エコ楽バッグ

㉚エコ楽バッグ

㉛エコ楽バッグ

㉜エコ楽バッグ

㉝エコ楽バッグ

㉞エコ楽バッグ

㉟エコ楽バッグ

㊱エコ楽バッグ

㊲エコ楽バッグ

㊳エコ楽バッグ

㊴エコ楽バッグ

㊵エコ楽バッグ

㊶エコ楽バッグ

㊷エコ楽バッグ

㊸エコ楽バッグ

㊹エコ楽バッグ

㊺エコ楽バッグ

㊻エコ楽バッグ

㊼エコ楽バッグ

㊽エコ楽バッグ

㊾エコ楽バッグ

㊿エコ楽バッグ

ECOPOKE BAG

エコポケバッグ

●カラー: 黒、赤、青、黄、白

●サイズ: 縦横約 30cm x 40cm

●容量: 約 10L

●重量: 約 100g

●材質: ポリプロピレン

●特徴: 繰り返し使える、洗濯可能、折りたたみ可能

●価格: 1袋 100円

●販売店: 各店舗にて販売中

●お問い合わせ: 03-XXXX-XXXX

●ウェブサイト: www.ecopoke.com

●QRコード: [QR Code]

●会社名: 株式会社エコポケ

●住所: 〒100-0001 東京都千代田区千代田

●TEL: 03-XXXX-XXXX

●FAX: 03-XXXX-XXXX

●Eメール: info@ecopoke.com

●設立: 2010年

●従業員: 10名

●売上: 100億円

●利益: 10億円

●株主: 100名

●役員: 10名

●顧問: 10名

●監事: 10名

●会計: 10名

●法律: 10名

●税理: 10名

●労務: 10名

●IT: 10名

●営業: 10名

●開発: 10名

●設計: 10名

●生産: 10名

●物流: 10名

●販売: 10名

●サポート: 10名

●その他: 10名

紙とポリプロピレンに完全分別可能商品

